

老年症候群リスク薬DB

■ 概要

・せん妄、転倒、食欲低下等、薬剤起因性老年症候群の原因となる医療用医薬品を使用している患者さんの抽出を可能とするデータベースです。

■ 特徴・機能

- ・厚生労働省「高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）」に準拠しています。
- ・ふらつき、転倒、記憶障害、せん妄、抑うつ、食欲低下、便秘、排尿障害、尿失禁の9症候を搭載しています。

■ 目的・利用場面

- 入院支援
 - ・入院時に老年症候群の原因となる医薬品の使用有無チェック
- 処方支援
 - ・医薬品との関連が疑わしい症状・所見が発現した場合、対象医薬品の中止、減薬、変更など処方薬の調整に
- 多職種連携支援
 - ・食欲低下や転倒への注意・対処など管理栄養士、理学療法士、介護士などとの連携に
- 調剤支援
 - ・老年症候群の原因となる医薬品を使用中の患者さんのモニタリング

■ データ例

『マイスリー錠5mg』と『バップフォー錠20』のデータ（概略）


商品名	ふらつき	転倒	記憶障害	せん妄	抑うつ	食欲低下	便秘	排尿障害	尿失禁
マイスリー錠 5 mg	○	○		○					
バップフォー錠 20							○	○	○

■ システム、Web等での表示例

〇〇 〇〇 様
 〇月〇日生 〇歳 男 確認日 〇年〇月〇日

薬品名	1日量	投与日数
マイスリー錠5mg	1錠	14日分
バップフォー錠20	1錠	14日分



 以下の症状を発現させるおそれがあります。

マイスリー錠5mg

ふらつき	転倒	記憶障害	せん妄	抑うつ	食欲低下
便秘	排尿障害	尿失禁			

バップフォー錠20

ふらつき	転倒	記憶障害	せん妄	抑うつ	食欲低下
便秘	排尿障害	尿失禁			